

ガイドマップ

愛知・名古屋

戦争のつめあとと散歩



⑦第3師団の煉瓦塼 れんがべい

名古屋城界限エリア



名古屋城
開園時間 午前9時～午後4時30分
※観覧料必要(条件により減免制度の適用有)

注 ◆は当時部隊や施設等があったとされる場所



愛知・名古屋 戦争に関する資料館

名古屋城境界エリア (中区)

明治になっても名古屋城^{てんしゆかく}天守閣は、名建築であったため破却をまぬがれました。陸軍は、明治4年(1871)に東京鎮台第3分営第6番大隊を名古屋城に置きました。本部は本丸御殿に、鎮台兵は天守閣に入りました。明治6年(1873)には名古屋鎮台となりました。明治26年(1893)に名古屋城の一部(本丸等)が宮内省に移管して離宮となり、昭和5年(1930)に名古屋市に下賜され一般公開されました。

～散策キーワード～ 肥大化する陸軍

鎮台の任務は、不平士族による内乱の鎮圧や民衆の暴動を抑えることでしたが、ロシアへの警戒や朝鮮半島情勢の変化により、次第に対外的な軍備増強に舵を切っていきます。明治21年5月の師団司令部条例の制定により、名古屋にも第3師団が置かれ、外征軍隊が誕生しました。

広大な敷地を占める三之丸の軍用地跡を歩きながら、明治から肥大化していく陸軍と終戦間際の戦禍の痕を巡ります。

ココに注目! のぎそうこ 乃木倉庫のひみつ

名古屋城御深井丸にある乃木倉庫は、明治10年頃に建てられた弾薬庫です。重厚な煉瓦の壁と木造の瓦屋根でできた構造は、万が一の爆発事故の時、爆風が天に抜けるようになっていました。側面にまわると通気孔があります。煉瓦の様子や湿気抜きのため地下が掘られている様子を見ることができます。

＜戦争のつめあと一覧＞

- ① カヤ・ムクノキ 空襲によりカヤは幹の内部が焼失。事務所の南側のムクノキも被災。
- ② 乃木倉庫 国登録文化財。
- ③ 天守閣の礎石や石垣 空襲で天守閣は焼失し、礎石や石垣も被災しました。
- ④ 「忠霊」碑のあった栄螺山と手水鉢 北側の鳥居をくぐり、手水鉢で手を清めて忠霊碑に参拝しました。昭和8年建立。鳥居は、津島市の津島神社境内に移設されています。
- ⑤ 「忠霊」碑 昭和8年、栄螺山に建てられた将兵の慰霊碑で、戦後廃棄されていたものを再建しました。
- ⑥ 防空庁舎建設時の排土 防空庁舎は、昭和20年、西側の司令部敷地に建設。
- ⑦ 第3師団の煉瓦塀 明治21年設置。二の丸交差点の北西にあります。
- ⑧ 「勅諭下賜□□」碑 樹木の成長により文字が読めなくなっていますが、軍人勅諭(明治15年・1882年)下賜五十周年記念植樹の記念碑と思われます。緑地内にあります。
- ⑨ 西南戦争の慰霊碑3基 明治11年建立。県内の明治の慰霊碑では最古。愛知県護国神社境内東側慰霊碑群のなかにあります。
- ⑩ 軍馬軍犬軍鳩慰霊碑 昭和14年建立しました。本町橋付近にあります。
- ⑪ 「名古屋憲兵隊本部跡」碑 本町公園の奥まったところにあります。
- ⑫ 松脂を採取した松 市役所北側の歩道にあります。
- ⑬ 名古屋市役所 昭和8年に建設。戦時中、防空迷彩が施されました。現在でも黒いコータール塗料が残っています。国重要文化財。敷地北西隅に騎兵聯隊跡の碑もあります。
- ⑭ 射塚 射撃場の的裏の土手。明治12年築造。名古屋城外堀沿いの土塁に増築。



① 戦災にあったムクノキ



⑤ 「忠霊」碑



⑥ 堀に捨てられた防空庁舎建設時の排土



⑬ 名古屋市役所

でかけよう! 愛知・名古屋 戦争に関する資料館

開館時間 午前10時～午後4時
休館日 月曜日・火曜日(祝日は開館し、直後の平日が休館)
年末年始 その他展示替等による休館 ※夏休み期間中は無休
入館料 無料
問い合わせ TEL (052) 957-3090 FAX (052) 957-3091 (〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4番13号)

